

ガゴメ昆布フコイダンの健常成人における安全性

【目的】

ガゴメ昆布 (*Kjellmaniella crassifolia*) は北海道南部に生息する褐藻類であり、古くから食用とされている。われわれはこれまでに、ガゴメ昆布フコイダンが抗腫瘍作用や免疫活性化作用、インフルエンザ予防作用など多様な機能性を持つことを報告している。今回はガゴメ昆布フコイダンを配合した飲料のヒトへの安全性について評価を行った。

【方法】

インフォームドコンセントの得られた健康な成人ボランティア 32 名を 8 名ずつ 4 群に無作為に割り付け、2 種類のガゴメ昆布フコイダン配合飲料のそれぞれの 1 日目安量ならびに過剰量 (3 倍量) を 4 週間摂取させた。飲料は「ガゴメ昆布フコイダン 200mg を配合した飲料ならびに「ガゴメ昆布フコイダン 300mg ときのこテルペンエキスを配合した飲料」を用いた。摂取開始日と 4 週間摂取後に血液生化学検査、血液学的検査、尿検査などを行った。本試験は、ヘルシンキ宣言を遵守しながらプロトコールを作成し、日本補完代替医療学会倫理委員会の承認を得た後、実施された。

【結果】

試験期間中、いずれの摂取群においても肝腎機能、血清脂質、血液凝固検査、尿検査の異常変動例はなかった。また、ガゴメ昆布フコイダン配合飲料に関連し安全性に問題となる有害な事象は見られなかった。

【結論】

健常成人を対象としたヒト摂取試験により、ガゴメ昆布フコイダンを配合した飲料の安全性が示された。